



都市機能の整った快適なまち推進プラン

【総合計画の体系】 4-4 1	第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち 4 都市機能の整った快適なまち
--------------------	--

所管名	1110	企画課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	15,300千円
-----	------	-----	--	--------------------	----------

事業名	JR東逗子駅前用地活用事業				
-----	---------------	--	--	--	--

事業概要	目的	JR東逗子駅前の旧国鉄清算事業団用地を有効活用することで、駅周辺の快適性・利便性を向上させるとともに、活性化を図る。
	対象	市、市民、事業者
	手段	市民や事業者、地権者との合意形成を図り、用地活用計画を策定する。また、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、施設整備を行う。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○民間資金等の活用 の検討 ○事業者選定	○施設整備に係る実 施設計	○施設整備工事	→→→→→

目標【2022(令和4)年度】	現状【2013年度末】
(仮称)JR東逗子駅前用地活用計画のもと、施設整備を行う。	計画の策定に着手していない。

<2020年度 進捗状況>	事業費(2020(令和2)年度実績額)	0円
---------------	---------------------	----

実施結果	○整備方針について ・2018年度末に事業予定地南側の民有地と一体的に整備することに方針を変更したが、その後の検討で、地権者と整備建物を区分所有する方法は、整備後の維持管理・更新等を考えると適切でないものと整理した。 ○関係者との協議 ・事業予定地南側民有地の地権者とは、交換により互いに使いやすい土地の形状にして各々が活用する方向で協議を進め、市からは土地交換の案を提示したが、具体的な回答を得るまでに至らなかった。
------	--

反省点・問題点	隣接民有地地権者との協議の進捗から、市として事業を実施する土地の形状や範囲が定まらず、建物や附帯施設の配置やボリューム等、検討を次の段階に進めることができなかった。	工夫している点
---------	--	---------

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
2018年度に基本構想(案)を作成したが、その後事業予定地南側の民有地と土地交換等した上で整備することへと方針が変更され、その交渉に時間を要しており、基本構想が策定できていない。	イ 予定より遅れている		(c)順調であるとみなせない

<審議会・懇話会等の意見>

	審議会等が妥当と考える評価区分
--	-----------------



都市機能の整った快適なまち推進プラン

【総合計画の体系】		第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち		
4-4 2		4 都市機能の整った快適なまち		
所管名	1560 都市整備課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業	<input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】 754,054 千円
事業名	市営住宅整備事業			

事業概要	目的	健康で文化的な生活を営むことができる市営住宅を計画的に整備する。 (老朽化した市営住宅を統廃合し、池子住宅に続き、桜山住宅を建替える。)		
	対象	市営住宅の利用者及びこれから市営住宅を必要とする市民		
	手段	市営住宅管理計画に基づき、市営住宅の計画的な整備・配置を実施するとともに、既存市営住宅のバリアフリー化を推進する。		

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○既存市営住宅のバリアフリー化		→→→→→	→→→→→

目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
市営住宅のバリアフリー化率が100パーセントになっている。		59パーセント	

＜2020年度 進捗状況＞ 事業費(2020(令和2)年度実績額) 円

実施結果	事業なし。		
	2019年度策定した市営住宅長寿命化計画において、住宅需要推計により2024年(令和6年)度には、小坪滝ヶ谷第3住宅は不要となる結果を得た。バリアフリー化になっていない小坪滝ヶ谷第3住宅(南台住宅や池子住宅、桜山住宅はバリアフリー化)については、計画空家にする方向で整理した。		
反省点・問題点			工夫している点

＜目標【2022年度】に対する評価＞

進捗状況	結果	個別事情 (社会状況変化等考慮すべき事情)	事業評価
現況、バリアフリー化率86.8%(全114戸のうち99戸)。 但し、2024年度以降は、バリアフリー化になっていない小坪滝ヶ谷第3住宅については、市営住宅長寿命化計画により不要と整理するため、バリアフリー化率は100%となる。	ア ①予定どおりに進捗		(a)順調である

＜審議会・懇話会等の意見＞

		審議会等が妥当と考える評価区分